

平成 26 年度 事業報告

平成 26 年度は、引き続き日本代表の強化を図るとともに、国内試合における集客の増加、財務体質の改善等に取り組んで参りました。

ラグビーワールドカップ（RWC）を翌年に控えた 15 人制男子代表は、5 月アジア五カ国対抗で優勝することにより RWC 出場権を確保し、6 月のイタリア戦での勝利や、秋のマオリ・オールブラックスとの対戦および欧州遠征等により、RWC イングランド大会ベスト 8 入りを目指す強化を進めて参りました。セブンズ(7 人制)につきましては、2016 年リオデジャネイロオリンピックへの出場権確保を目指した強化を進め、9 月のアジア競技大会において男子は金メダル、女子は銀メダルを獲得する成果を上げましたが、セブンズワールドシリーズのコアチームに昇格した男子は、世界の強豪に対し苦戦する結果となりました。しかしながら、2019 年、2020 年に向けて 15 人制男子、男女セブンズの強化の継続は不可欠です。

財務面においては、26 年度は一層の諸経費節減に務めるとともに登録料、トップリーグ加盟会費の引上げ、「JRFU 基金」の創設と募金活動、「スクラム・ジャパン・プログラム」への参加呼びかけ等を実施し、収支改善に取り組んでまいりました。また、日本代表の強化の為に特別の寄付を頂いた結果、当年度の経常損益につきましては、黒字を確保することが出来ました。

一方、現在南半球の強豪 3 カ国 15 チームで構成しているスーパーラグビーにつきましては、18 チームへの拡大に伴う日本チームの参加意向の打診を受け、日本代表強化や更なるラグビーの普及発展の大きな機会であるとの観点から入札参加することとし、11 月には参加契約を締結するに至りました。また、このスーパーラグビー事業を運営するための一般社団法人 ジャパンエスアールを設立し、2016 年シーズンからの開始に向けた準備に着手致しました。

今後とも、国際的な視野に立って日本のラグビーの強化を図り、健全な財政状況の下でのラグビーの普及と発展に邁進すべく、努めて参ります。

26年度 実施事業

国内大会関係

- 第55回 YC&AC JAPAN SEVENS
4月6日(日) 場所:横浜 YC&AC
優勝:流通経済大学
- 第15回 全国高等学校選抜大会
3月30日(日)~4月7日(月)場所:熊谷
優勝:東福岡高校(2年ぶり4回目)
- 第3回全国高等学校選抜女子セブンズラグビー大会
4月5日(土) 場所:熊谷
優勝(カップ):石見智翠館高校(2年連続2回目)
- アシックスカップ2014 第1回全国高校7人制大会
7月19日(土)~21日(月) 場所:菅平
カップ優勝:東福岡高校
- 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2014
5月17日(土)、18日(日) 龍ヶ崎大会
優勝:ARUKAS QUEEN KUMAGAYA
6月14日(土)、15日(日) 北海道大会
優勝:ARUKAS QUEEN KUMAGAYA
7月19日(土)、20日(日) 横浜大会
優勝:ARUKAS QUEEN KUMAGAYA
- ジャパンセブンズ2014
6月8日(日) 場所:秩父宮
優勝:リコーブラックラムズ
- 第10回全国高等学校合同チーム大会
8月1日(金)~3日(日) 場所:菅平高原
U17(カップ):九州
U18(カップ):関東
- 第4回全国高等学校女子7人制ラグビー大会
8月1日(金)~3日(日)場所:菅平高原
(カップ):九州
- 第5回全国中学校大会(中学校の部・スクールの部)
9月13日(土)~15日(月) 場所:水戸
第1ブロック:京都市立伏見中学校(初)
第2ブロック:横浜ラグビースクール(初)
女子エキシビジョン:東京都合同チーム選抜
- 第69回 国民体育大会(日本体育協会主催)
9月29日(日)~10月3日(木)
場所:長崎県長崎市
優勝(成年男子):佐賀県
優勝(少年男子):大阪府
- ジャパンラグビートップリーグ2014-2015
<リーグ戦>
ファーストステージ:8月22日(金)~10月19日(日)
セカンドステージ:11月28日(金)~平成27年1月11日(日)
北海道・東北・関東・東海・北陸・関西・中国・四国・九州
1. 神戸製鋼 9. リコー
2. パナソニック 10. NEC
3. 東芝 11. NTTドコモ
4. ヤマハ発動機 12. 近鉄
5. サントリー 13. クボタ
6. トヨタ自動車 14. コカ・コーラ
- キヤノン 15. 豊田自動織機
8. NTTコム 16. サニックス※)
(※)サニックスは降格、ホンダが昇格する。
<プレーオフトーナメント LIXIL CUP2015>
・セミファイナル 平成27年1月24日(土) 近鉄花園
神戸製鋼(12-41)ヤマハ発動機
1月25日(日) 秩父宮
東芝(15-50)パナソニック
・ファイナル 平成27年2月1日(日) 秩父宮
パナソニック(30-12)ヤマハ発動機
<入替戦>
平成27年2月14日(土) 熊谷
クボタ(34-5)釜石シーウェイブス
2月14日(土) レバスタ
コカ・コーラ(53-8)九州電力
2月14日(土) 瑞穂
豊田自動織機(53-7)三菱重工
クボタ、コカ・コーラ、豊田自動織機は残留
- 第1回 全国女子ラグビー選手権大会
11月23日(日) 場所:東京 江戸川陸上競技場
優勝:日本体育大学ラグビー部女子
- 第51回 全国大学選手権大会
準決勝 平成27年1月2日(木) 場所:秩父宮
筑波(17-16)東海
帝京(53-10)慶応
決勝 平成27年1月12日(日) 場所:味スタ
帝京(50-7)筑波
- 第94回 全国高等学校大会
12月27日(土)~平成26年1月7日(水)場所:花園
準決勝 1月5日(月)
御所実業(40-14)京都成章
尾道(12-40)東福岡
決勝 1月7日(水)
御所実業(5-57)東福岡
- 第7回 U18 合同チーム東西対抗
平成27年1月7日(水) 場所:花園
東軍(34-5)西軍
- 第22回 全国クラブ大会
決勝 平成27年3月1日(日)
神奈川タマリバクラブ(14-10)北海道バーバリアンズ
- 第13回東西学生クラブ交流会
12月21日(日) 場所:熊谷
早大GWRC(31-171)京都ラビッツ
- 第20回 全国ジュニアラグビー大会
12月29日(月)~31日(水) 場所:花園
第1ブロック
長崎県選抜(7-29)福岡県選抜
第2ブロック
兵庫県選抜(7-47)大阪府中学校選抜
- 第65回 全国地区対抗大学大会
平成27年1月2日、4日、6日 場所:瑞穂
決勝
東京学芸大(12-21)名城大

20. 第45回 全国高等専門学校大会
平成26年1月9日 兵庫県
奈良工業高専(0-50)仙台商専名取
21. 第52回 日本選手権大会
1回戦 2月8日(日) 場所:秩父宮・瑞穂
2回戦 2月15日(日) 場所:秩父宮
準決勝 2月22日(日) 場所:花園
ヤマハ(21-9)東芝
サントリー(31-25)パナソニック
決勝 2月28日(日) 場所:秩父宮
ヤマハ(15-3)サントリー
22. 第10回 全国小学生ラグビー選手権大会
決勝トーナメント3月8日(日)9日(月)
(カップ) 七国スピリッツ
(プレート) 小柳ライトニングス
(ボウル) 桜6S
(シールド) 富良野へそタグズ

国際大会・海外遠征関係

<高等学校関係>

1. サニックス2014ワールドユース交流大会
4月28日(月)~5月5日(月)
場所:福岡 宗像市 グローバルアリーナ
優勝 ハミルトンボーイズ
準優勝 パールボーイズハイスクール
4位 東海大仰星高校
5位 東福岡高校
8位 慶応義塾高校
2. 第22回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会
8月24日(月)~27日(水) 場所:盛岡
U17 日本(34-12)U18 韓国代表
U17 日本(78-7)岩手県代表
U17 日本(91-5)U18 中国代表
3. 高校日本代表・海外遠征
平成26年3月15日~25日 スコットランド・フランス
日本(12-66) U19 スコットランド代表
日本(12-50) U19 スコットランド代表
日本(43-19) U22 スタッド・フランセ
日本(12-89) U19 フランス代表

<女子15人制日本代表>

4. ARFU女子アジア4ヶ国対抗
5月18日~24日 場所:香港
結果:3位
日本(37-5)シンガポール
日本(14-15)香港
日本(17-49)カザフスタン

<女子7人制日本代表>

5. アジアシリーズ 第1戦 香港大会
8月23日~24日
結果:3位
日本(19-5)カザフスタン

6. IRB女子ワールドシリーズコアチーム昇格決定大会

9月12日~13日 場所:香港
結果:5位(上位4位以上がコアチーム昇格)

7. 第17回アジア競技大会

9月30日~10月2日 場所:仁川
結果:2位
日本(12-14)中国

8. アジアシリーズ 第2戦 中国大会

10月18日~19日 場所:北京
結果:優勝
日本(24-19)中国

9. 女子セブンズ ラスベガス招待大会

2月13日~14日
日本選抜1:プレート戦勝利
日本(24-5)アトランティス
日本選抜2:ボウル戦敗退
日本(17-24)スターズ・オープン・ブルー

10. 香港女子セブンズ大会

3月26日~27日
結果:カップ準優勝
日本(12-24)カナダ

<男子7人制日本代表>

11. セブンズワールドシリーズ 第8戦 スコットランド大会

5月3日~4日
結果:シールド準優勝
日本(5-31)ウェールズ

12. セブンズワールドシリーズ 第8戦 イングランド大会

5月10日~11日
結果:シールド準優勝
日本(12-36)アメリカ

13. アジアシリーズ2014 第1戦 香港大会

8月23日~24日
結果:3位
日本(42-12)スリランカ

14.アジアシリーズ 2014 第2戦マレーシア大会

9月6日～7日

結果:カップ準優勝

日本(7-24)香港

15.第17回アジア競技大会

9月30日～10月2日 場所:仁川

結果:優勝

日本(24-12)香港

16.セブンズワールドシリーズ第1戦 コールドコースト大会

10月11日12日

結果:シールド準決勝敗退

日本(15-17)ケニア

17.アジアシリーズ 第3戦中国大会

結果:3位

日本(24-19)スリランカ

18.セブンズワールドシリーズ 第2戦 ドバイ大会

12月5日～6日

結果:シールド準決勝敗退

日本(14-29)カナダ

19.セブンズワールドシリーズ 第3戦 南アフリカ大会

12月13日～14日

結果:シールド準決勝敗退

日本(15-24)ポルトガル

20.セブンズワールドシリーズ 第4戦 ニュージーランド大会

2月6日～2月7日

結果:シールド準決勝敗退

日本(21-28)カナダ

21.セブンズワールドシリーズ 第5戦 アメリカ大会

2月13日～15日

結果:シールド準決勝敗退

日本(33-47)ウェールズ

22.セブンズワールドシリーズ 第6戦 香港大会

3月27日～29日

結果:シールド準優勝

日本(7-26)ケニア

<15人制日本代表>

25.HSBCアジア五カ国対抗

5月3日(土) 場所:マニラ

日本(99-10)フィリピン

5月10日(土) 場所:瑞穂

日本(132-10)スリランカ

5月17日(土) 場所:仁川

日本(62-5)韓国

5月25日(日) 場所:国立

日本(49-8)香港

26.IRBパシフィック・ネーションズカップ

6月7日(土) 場所:バンクーバー

日本(34-25)カナダ

6月14日(土) 場所:ロサンゼルス

日本(37-29)アメリカ

27.リポビタンDチャレンジ2014

5月30日(金) 場所:秩父宮

日本(33-14)サモア

6月21日 場所:秩父宮

日本(26-23)イタリア

28.リポビタンDチャレンジカップ2014

11月1日(土) 場所:ノエビアスタジアム神戸

日本(21-61)マオリ・オールブラックス

11月8日(秩父宮) 場所:秩父宮

日本(18-20)マオリ・オールブラックス

29.リポビタンDツアー

11月15日(土) 場所:ブカレスト

日本(18-13)ルーマニア

11月23日(日) 場所:トビリシ

日本(24-35)ジョージア

<U20日本代表>

23.ジュニアワールドラグビートロフィー2013 香港大会

4月7日～4月19日

結果:優勝(JWC昇格決定)

日本(43-24)トンガ

<ジュニア・ジャパン>

24.IRBパシフィックラグビーカップ 場所:フィジー

3月10日～23日

結果:グループ最下位

各委員会関係

各委員会・各部門は次の事業を実施した。

1. 総務委員会

1. 「JRFU基金」

26年度寄付実績

(単位:円)

寄付目的	件数	金額
日本代表チームの一層の強化	185	16,337,592
ラグビーの普及と育成	98	7,646,000
RWC2019成功の為の活動	104	1,494,000
ラグビー協会の活動全体	33	21,611,000
合計	420	47,088,592

2. 定款・規程集

5件の新設規程と15件の改定を行い、2014年度版として配布した。

環境部門

1. 事業活動

- ① 日本協会『環境保全活動推進宣言』に基づいた推進活動の展開
- ② 地球温暖化防止のための『Fun to Share キャンペーン』(環境省主管)加盟メンバーとして環境保全活動への協力
- ③ 各委員会との連携・協力体制により環境PR活動
- ④ 2015年2月19日開催のJOC環境担当者会議に参加し他団体の取り組み事例研究
- ⑤ 広報委員会との連携によりホームページ、機関紙、大会プログラム、メンバー表等への「FOR ALL, FOR EARTH」環境タイライン掲出
- ⑥ 秩父宮ラグビー場での「エコキャップ運動」
- ⑦ トップリーグ協力による網走市植樹「TRY for GREEN プロジェクト」

2. 財務委員会

1. 平成26年度予算の執行状況を主要部門別に確認実施。
加えて、部門固有の問題点について対応検討。
2. 平成27年度予算策定において、主要部門別にヒアリング実施。
最終予算確定のベース情報を事務局に提示。

3. 国際委員会

◎重点目標

<JRFU 戦略計画に基づく国際戦略の遂行>

1. 国際戦略の策定と実行
2. 代表事業委員会、事業委員会と連携した、強化・事業両面での効果的な国際試合編成の交渉
3. RWC2019 へ向けた国際大会運営力と海外チーム受入れノウハウの蓄積と向上
4. 海外協会との戦略的提携の交渉と実行
5. アジアでのリーダーシップを取るための(アジアスクラムスクラムプロジェクトと中心とした)各種活動の展開
6. 海外からの情報収集/発信の強化/積極的なコミュニケーション/ネットワーク作り
7. RWC2019 組織委員会との連携

<セブンズオリンピック採用に伴う対応>

1. JOC とのコミュニケーション及びネットワークづくり
2. 他競技国際担当者との情報交換・交流等

4. 広報・プロモーション委員会

1. メディア関連

- ① タイムリーなリリース、記者会見による発信により、スポーツ紙や一般紙運動面への記事化を図った。
- ② 各会場における試合後の取材コントロール（会見・囲み取材）を行い、スムーズな取材対応を心がけた。
- ③ 効果的な露出の拡大のため、TV局への取材対応や非スポーツ番組への出演、特番への対応を行った。
- ④ ファン以外にもラグビー競技を訴求するため、専門誌以外の媒体に積極的に選手を露出させた。
- ⑤ 地方試合開催地での、地元メディア（新聞・TV）へのアプローチを行い、各地で記事化に繋げた。
- ⑥ マスコミとの良好な関係構築、人脈の拡大を図るための「マスコミ懇談会」の開催

2. Web、SNS 対応

より見やすく、情報にたどり着き易くすることをコンセプトにHPのリニューアルを行った。

	オフィシャルサイト		SNS	
	アクセス数	前年比	ファン数	前年比
日本協会	1,724,049	94%	16,071	118%
日本代表	529,692	103%	49,717	129%
セブンズ	258,473	134%		
@JRFUMedia(Twitter)			17,161	208%

5. マーケティング・セールス委員会

① 日本代表関連ウェア関連

- ・男子代表オフィシャルスポンサー及びオフィシャルサプライヤーとして、東芝・三井住友銀行・ロバートウォルターズ・JAL・シチズンが追加決定した。
- ・女子代表オフィシャルスポンサー及びオフィシャルサプライヤーとして、JAL・セコム・LIXIL・青南商事が追加決定した。

② 日本代表戦

大正製薬の冠大会を11月1日にマオリ・オールブラックス戦を神戸ノエビアスタジアム、8日に秩父宮ラグビー場で実施。昨年のオールブラックス戦に続く大型の協賛を得た。

③ 既存大会関連(横断幕スポンサーパッケージ)

- ・東京海上日動が大学選手権のスポンサーに決定した。
- ・AIGがレフリースポンサーとして決定した。
- ・マニフレックスがテレビジョンマッチオフィシャルスポンサーとして決定した。

④ その他の大会関連

・新規大会

高校7人制の全国大会として「アシックスカップ」が2014年7月菅平で行われた。冠協賛社としてアシックス、サブスポンサーとして明治、シミズオクト、後援社として読売新聞が決定した。

・トップリーグプレーオフ

冠協賛社としてLIXILが決定。

⑤ 放送権

5月30日サモア戦はテレビ朝日、6月21日イタリア戦、前述のマオリ・オールブラックス戦は日本テレビと契約。NHKとは例年通り大学選手権、日本選手権を中心に契約、トップリーグプレーオフ「LIXIL CUP」は従来通りテレビ朝日と契約。

6. 競技運営委員会

競技運営運営、TL事業

1. 日本代表戦、日本選手権、大学選手権等の日本協会主催試合およびトップリーグ事業を実施し以下の結果を残した。

観客数(主な事業) 593,841人(目標比100.4%前年比97%)※東京セブンズ2015は2015年度計上
 収益(主な事業) 205,548千円(目標比63.7%、前年比97.6%)

* 主な事業の観客数増減は以下の通り

	平成25年度	平成26年度	対前年比
トップリーグ	365,491人(121試合、85開催)	396,421人(121試合、81開催)	+30,930人 108%
大学選手権	91,148人(30試合、17開催)	64,774人(30試合、14開催)	-26,374人 71%
日本選手権	46,585人(9試合、6開催)	42,929人(9試合、5開催)	-3,656人 92%
日本代表戦	91,278人(8開催)	88,007人(7開催)	-3,271人 96%
TOKYO SEVENS	16,536人(1大会)	次年度計上	
計	611,038人	593,841人	-17,197人 97%

* 主な事業の収益 (千円)

	収益額(実績)	予算差
トップリーグ	164,130	△54,300
大学選手権	18,576	△15,424
日本選手権	39,072	7,072
日本代表戦	△16,230	△54,730
計	205,548	△117,382

1. 国体部門

1. 組合せ抽選会:9月6日 会場 :ジャパンクラブ
2. 第69回 長崎国体
 競技日程: 平成26年10月17日(金)～21日(火)
 会場: かきどまり陸上競技場他
 成績結果: 総合優勝 : 大阪府
 成年男子の部優勝 : 佐賀県
 少年男子の部優勝 : 大阪府
 女子優勝 : 全福岡 (イベント事業として実施)

2. 社会人部門

1. 第55回 YC&AC JAPAN SEVENS
 日程 : 会場:4月6日(日) 横浜 YC&AC グランド
 出場 : 16チーム (大学10、クラブ4、社会人1、県選抜1)
 決勝 流通経済大学(62-19) 専修大学
2. トップイースト / トップウエスト / トップキュウシュウ等、三地域と連携し諸施策を実施する。
 「トップチャレンジ1シリーズ」は 三菱重工相模原、ホンダ、九州電力、釜石SWが出場し、1位のホンダが自動昇格。
 他の3チームは入れ替え戦で敗退し残留。

3. クラブ部門

1. クラブ大会の開催

①第22回全国クラブ大会

会場:瑞穂ラグビー、熊谷ラグビー場、韃ヶ谷陸上競技場

日程:1回戦:2015年1月11日・12日、2回戦:1月25日、準決勝:2月15日、決勝:3月1日

優勝:神奈川タマリバ

②学生クラブ東西交流フェスティバルIN菅平2014

8月29日(金)～8月31日(日) 場所:菅平サニアパーク

参加数:22チーム

③第13回東西学生クラブ対抗試合

12月21日(日) 熊谷ラグビー場

早大GW(31-17) 京都ラビッツ

④第10回クラブユース交流試合(兼:クラブユースU-19)

2015年3月22日 場所:コカ・コーラウエスト ジャパンランド

福岡ユース(19-38) シックス(兵庫)

7. トップリーグ委員会

1. 16チームによるリーグ運営を実施。昨年度と同様に2ステージ制を導入。ファーストステージ、セカンドステージ、プレーオフを通じ、396,421人と最多入場記録を更新した。

2. 2014年度集客目標45万人⇒結果 396,421人(目標比88%、前年比108%)

一会場平均	4,719人(前年比+419)	
最多入場者数	12,189人(前年比+1,871) セカンドステージ3節@秩父宮 神戸製鋼 vs パナソニック	
試合数	リーグ戦	112試合
	ワイルドカードトーナメント	6試合
	プレイオフトーナメント	3試合
	計	121試合
開催都道府県数	32都道府県(前年比+1)	
開催会場数	41会場(前年比+5)	

3. テレビ放送/広報活動

・TV放送実績(一部ラジオ放送含む)

リーグ戦	79(前年比-8)
プレイオフトーナメント	4
ワイルドカードトーナメント	2
オールスター	1(前年比+1)
国内総計	86(前年比-3)

・記者会見実績

2014.8.18	プレスカンファレンス @テピア	45社96名
2014.1.13	リクシルカップ開催記者会見 @明治記念館	28社42名
2015.2.2	年間表彰式 @明治記念館	40社86名

・公式ホームページ アクセス数

総アクセス数	5,080,952(前年比101%)
総ユニークアクセス数	1,973,510(前年比123%)
総ニュース更新数	391(前年比107%)

4. テレビマッチオフィシャル(TMO)を導入

国際レベルのリーグ運営をめざし、世界レベルに近づくため全試合にTMOを導入した。

5. FOR ALL活動

- ・ラグビーファンのために
秩父宮のピッチ上でのヨガ体験、ウルトラマンコラボ、男と女と泪のタックル、ボールパーソン体験会、トップリーガーカードの販売
- ・FOR ALL グリーティングタイム
試合終了後に試合出場選手と握手やサイン、写真撮影などのコミュニケーションイベントを実施
- ・ラグビーの未来のために
子どもたちへのラグビー指導、AIG タグラグビーツアー、レフリング体制の強化
- ・地域、社会環境のために
港区提携プログラム(第3節 9月12日)、スポーツフォトグラファー体験プログラム。
- ・TRY FOR GREEN
トライ数に応じてチームと日本協会の双方が募金を実施。北海道網走市の森林保全活動に、1,492,000 円を寄付。

6. キャプテン会議

東日本大震災復興支援をととして、「1点10円募金」を全16チームにて実施。ウインドマンズ期間中に「スポーツこころのプロジェクト」への講師派遣。また、シーズン終了後の「ラグビー感謝の日」に各チームが社会貢献活動を実施。

8. 代表委員会

<15人制日本代表>

(1) 合宿

4/7(月)～11日(金) 宮崎
4/18(金)～24(木) 宮崎
4/27(日)～5/1(木) 福岡
5/26(月)～5/31日(土)
サントリー府中スポーツセンター
6/16(月)～6/22(日) 秩父宮ラグビー場
9/21(日)～9/23(火) キヤノンスポーツパーク
10/21(火)～10/30(木) 宮崎
11/2(日)～11/9(日) キヤノンスポーツパーク

(4) IRBパシフィックネーションズカップ2014

第1戦 6/7(土) 日本 (34-25) カナダ
(バンクーバー/カナダ)
第2戦 6/14(土) 日本 (37-29) アメリカ
(ロサンゼルス/アメリカ)

(5) リポビタンDチャレンジカップ2014

第1戦 5/30(金) 日本 (33-14) サモア
(東京/秩父宮)
第2戦 6/21(土) 日本 (26-23) イタリア
(東京/秩父宮)

(2) 関西ラグビー祭り

4/26(土) ジャパンXV (29-35) アジアパシフィック
ドラゴンズ (花園ラグビー場)

(6) リポビタンDチャレンジカップ2014

第1戦 11/1日(土)
日本 (21-61) マオリ・オールブラックス
(兵庫/ノエビアスタジアム神戸)
第2戦 11/8日(土)
日本 (18-20) マオリ・オールブラックス
(東京/秩父宮)

(3) HSBCアジア5か国対抗

第1戦 5/3(土) 日本 (99-10) フィリピン
(フィリピン/サザンブレインズラグビークラブ)
第2戦 5/10(土) 日本 (132-10) スリランカ
(愛知/瑞穂ラグビー場)
第3戦 5/17(土) 日本 (62-5) 韓国 (韓国/仁川)
第4戦 5/25(日) 日本 (49-8) 香港 (東京/国立)

(7) リポビタンDツアー2014

第1戦 11/15(土) 日本 (18-13) ルーマニア
(ブカレスト/ルーマニア)
第2戦 11/23(日) 日本 (24-35) ジョージア
(トビリシ/グルジア)

<U20日本代表>

1. JWRT 2014 香港遠征

試合期間: 4月7日～4月19日

- | | |
|--------|---------|
| プールA | プールB |
| 1、アメリカ | 1、カナダ |
| 2、トンガ | 2、日本 |
| 3、グルジア | 3、ウルグアイ |
| 4、香港 | 4、ナミビア |

第1戦 日本 (33-28) ウルグアイ

第2戦 日本 (34-28) ナミビア

第3戦 日本 (37-12) カナダ

第4戦 日本 (35-10) トンガ

《最終成績》 優勝 (27年年度JWC昇格)

<ジュニア・ジャパン>

Jr.JAPAN PRC フィジー遠征

大会期間: 3月10日-3月23日

第1戦 日本 (69-17) カナダA

第2戦 日本 (83-0) フィジーA

第3戦 日本 (60-24) トンガA

第4戦 日本 (43-24) トンガA

《最終成績》 4位

<男子7人制日本代表>

1. HSBCセブンズワールドシリーズ 2013-2014

第8戦・スコットランド大会「グラスゴーセブンズ」

試合期間:5月3日～5月4日

ボウル準々決勝 日本 (7-35) アルゼンチン

シールド準決勝 日本 (19-14) アメリカ

シールド決勝 日本 (5-31) ウェールズ

カップ準々決勝 日本 (47-7) タイ

カップ準決勝 日本 (19-12) 韓国

カップ決勝戦 日本 (7-24) 香港

2. HSBC セブンズワールドシリーズ 2013-2014

第9戦・イングランド大会「ロンドンセブンズ」

試合期間:5月10日～5月11日

ボウル準々決勝 日本 (19-21) カナダ

シールド準決勝 日本 (26-19) スコットランド

シールド決勝 日本 (12-36) アメリカ

6. 第17回アジア競技大会(韓国)

試合期間:9月30日～10月2日

準々決勝 日本 (57-0) 中華台北

準決勝 日本 (40-0) スリランカ

決勝 日本 (24-12) 香港

3. 第6回 世界学生選手権(ブラジル)

試合期間:8月8日～8月10日

プレート準決勝 日本 (45-5) 中華台北

プレート決勝 日本 (24-5) ナミビア

7. HSBC セブンズワールドシリーズ 2014-2015

第1戦「ゴールドコーストセブンズ」

試合期間:10月11日～10月12日

ボウル準々決勝 日本 (5-26) アメリカ

シールド準決勝 日本 (15-17) ケニア

8. ARFU アジアセブンズシリーズ 2014

第3戦「中国セブンズ」

試合期間:10月18日～10月19日

カップ準々決勝 日本 (14-12) カザフスタン

カップ準決勝 日本 (21-24) 韓国

3/4位決定戦 日本 (24-19) スリランカ

4. ARFU アジアセブンズシリーズ 2014

第1戦「香港セブンズ」

試合期間:8月23日～8月24日

カップ準々決勝 日本 (19-7) 中国

カップ準決勝 日本 (21-28) 韓国

3/4位決定戦 日本 (42-12) スリランカ

9. HSBC セブンズワールドシリーズ 2014-2015

第2戦ドバイ大会「ドバイセブンズ」

試合期間:12月5日～12月6日

ボウル準々決勝 日本 (12-14) アメリカ

シールド準決勝 日本 (14-29) カナダ

5. ARFU アジアセブンズシリーズ 2014

第2戦「マレーシアセブンズ」

試合期間:9月6日～9月7日

10. HSBC セブンズワールドシリーズ

第3戦「南アフリカセブンズ」

試合期間:12月13日～12月14日

ボウル準々決勝 日本 (12-26) ケニア

シールド準決勝 日本 (15-24) ポルトガル

11. HSBC セブンズワールドシリーズ 2014-2015 第4戦
ニュージーランド大会「ウェリントンセブンズ」

試合期間: 2月6日～2月7日

ボウル準々決勝 日本 (5-38) アルゼンチン

シールド準決勝 日本 (21-28) カナダ

12. HSBC セブンズワールドシリーズ 2014-2015 第5戦
アメリカ大会「ラスベガスセブンズ」

試合期間: 2月13日～2月15日

ボウル準々決勝 日本 (12-15) アルゼンチン

シールド準決勝 日本 (33-47) ウェールズ

13. HSBC セブンズワールドシリーズ 2014-2015 第6戦香
港大会「香港セブンズ」

試合期間:3月27日～3月29日

ボウル準々決勝 日本 (7-28) スコットランド

シールド準決勝 日本 (42-7) ベルギー

シールド決勝 日本 (7-26) ケニア

<女子15人制日本代表>

1. 女子アジア選手権

遠征期間: 5月16日～25日

結果:3位

第1戦 日本 (37-5) シンガポール

第2戦 日本 (14-15) 香港

第3戦 日本 (17-49) カザフスタン

<女子日本代表 7人制>

1. 第6回 世界学生選手権

女子セブンズ学生日本代表 (ブラジル・サンパウロ)

試合期間:8月8日～8月10日

プレート準々決勝1 日本 (10-14) イギリス

プレート準決勝 日本 (5-10) ベルギー

プレート3/4決定戦 対モロッコ

モロッコの辞退により不戦勝

4. 第17回アジア競技大会(韓国・仁川)

試合期間:9月30日～10月2日

準決勝 日本(17-10) 香港

決勝 日本 (12-14) 中国

5. ARFUアジア女子セブンズシリーズ2014

第2戦「中国セブンズ」(中華人民共和国・北京)

試合期間:10月18日～19日

カップ準決勝 日本 (17-0) 香港

カップ決勝 日本 (24-19) 中国

2. ARFUアジア女子セブンズシリーズ2014

第1戦「香港セブンズ」(香港)

試合期間:8月23日～24日

カップ準決勝 日本 (5-10) 香港

3/4決定戦 日本 (19-5) カザフスタン

6. 香港女子セブンズ

Hong Kong Women's Rugby Sevens (香港)

試合期間: 3月26日～27日

カップ準々決勝 日本 (43-5) アルゼンチン

カップ準決勝 日本 (10-5) 香港

カップ決勝 日本 (12-24) カナダ

3. IRB女子セブンズ ワールドシリーズ2014-2015

コアチーム昇格決定大会(香港)

試合期間:9月12日～9月13日

カップ準々決勝 日本 (12-21) フランス

プレート準決勝 日本 (14-5) オランダ

プレート決勝 日本 (38-7) ブラジル

〈U18男女7人制代表〉

1. ユースオリンピックゲームズ(男子のみ参加) 南京
試合期間:8月17日(日)～20日(水)
・5位6位決定戦
日本 (12-29) アメリカ
最終順位:6位/6チーム

9. 普及・競技力向上委員会

コーチ部門

コーチデータベース登録者数 : 16,010名【女性338名】 (有効期限切れ含む)

平成26年度コーチ資格新規取得者:

新スタートコーチ1,007名【女性54名】 育成コーチ52名 強化コーチ42名

資格者養成講習会・研修会開催状況

WR S&C Level 1 9月24日 34名

WR S&C Level 2 9月25日～9月27日 13名

トップチームコーチ講習会 (WR コーチング Level 1・2) 11月10日～12日

トップチームコーチ講習会 (WR S&C Level 1) 3月2日～3日

強化コーチ養成講習会 7月26日～7月29日

育成コーチ養成講習会 (埼玉) 11月22日～11月24日

(大阪) 9月6日、7日、13日、14日

(福岡) 10月11日～10月13日

新スタートコーチ資格認定養成講習会: 40回

ブラッシュアップ研修会: 38回

【一貫指導関連】

1. U16・17ブロックトライアウト、U17 合同大会/ユースコーチ研修会事業
・コーチ部門との連携による「U16・17ブロックトライアウトからジャパンにつづく一貫システムづくり」と、日本スタイル策定と指導者への落とし込みを行った。

＜実施スケジュール＞

U16・17ブロックトライアウト

北海道 U16 8月9日(土)～11日(月) 北見市 56名 U17 6月14日(土)～16日(月) 帯広市 89名

東北 U16 7月4日(金)～7月6日(日) 青森 18名 U17 7月4日(金)～7月6日(日) 同 72名

関東 U16 6月27日(金)～29日(日) 辰巳の森90名 U17 6月27日(金)～29日(日) 同 98名

東海 U16 12月13日(金)～15日(日) 長良川70名 U17 6月28日(金)～6月30日(日) 鈴鹿69名

北信越 U16 6月27日(金)～29日(日) 菅平 43名 U17 6月27日(金)～29日(日) 同48名

近畿 U16 6月6日(金)～8日(日) 天理 30名 U17 6月6日(金)～8日(日) 同 50名

中国 U16 9月13日(土)～15日(月) 長門市 78名 U17 6月13日(金)～15日(日) 同 50名

四国 U16 3月15日(土) 西条市78名 U17 5月10日(土)～11日(日) 久万高原 36名

九州 U16 7月5日(土)～7日(月) 湯布院 59名 U17 7月5日(土)～7日(月) 同 69名

TIDユースキャンプ

6月25日(木)～29日(火) 岩手県北上市

8月2日(日)～5日(水) 長野県菅平高原

9月11日(金)～13日(日) 東京

12月23日(水)～25日(金) 関西

ユースコーチ&リソースコーチ合同研修会

日程：4月20日～22日

場所：流通経済大学龍ヶ崎 参加者：ユースコーチおよびスタッフ47名

RUGNET

第7回（東京）日程：8月10日-12日（3日間 全5回）

参加者：176名（ラグビースクールコーチから、他競技のコーチまで幅広い）

第8回（宮城）日程：8月27日

参加者：22名（おもに、大学、高校のコーチ、強化コーチなど）

第9回（福岡）日程：10月16日

参加者：13名（中高大指導者、他競技のコーチ）

科学情報部門

1. ラグビー科学研究 vol. 26-1 を発刊（平成27年3月）
2. JOC、体協、JISS との連携強化を図り、7人制強化および普及に必要な支援活動を行った。特に女子代表の世界スタンダードエビデンス構築（安全対策委員会と連携）に務めた。

<具体的な取り組み>

- ① TID 高校代表へのサポートを行った。
日時：11月 同社社大、12月 天理大、2月 流通経済大
- ② 情報支援：情報科学・組織経営情報ニュースとして、海外ユース強化情報・映像発信を行った
- ③ (AIR) 連携組織との実践関係構築：JISS, JOC 等
- ④ 五輪競技化された場合の JOC コーチ研修義務「ナショナルコーチアカデミー」内容の研究を行った
- ⑤ コーチ委員会：資格コーチ研修支援（平成26年8月：オリンピックセンター）
- ⑥ (AIR) アジア各ユニオンとの情報共有を検討した
- ⑦ AIR 向け科学情報ニュース発信

普及育成部門

1. 三地域ミニ・ジャンボリー大会

(1) 関東協会

- ① 『関東ミニ・ラグビー交流大会2014／菅平ミニ・ラグビージャンボリー交流大会』

日程：7月20日（日）、21日（月・祝）／会場：菅平高原サニアパーク

参加：選手約1,200名、指導者約350名、

- ② 『第14回東北小学生ラグビーフットボール交流大会』

日程：10月25日（土）、26日（日）／会場：青森県 マエダアリーナ／参加：12チーム（約300名）

指導者約50名

(2) 関西協会

- ① 『第8回 関西ミニ・ラグビージャンボリー交流大会』

日程：6月28日（土）・29日（日）／会場：兵庫県・淡路佐野運動公園 / 参加：45チーム、選手約700名

- ② 『関西ミニ・ラグビー交流大会2014』

日程：10月18日（土）／会場：J-GREEN 堺

参加：57チーム（13府県）、選手922人、指導者・保護者約1,500人

(3) 九州協会

①『第41回九州少年ラグビー交歓会』

日程：8月22日(金)～25日(日)／会場：熊本県・阿蘇青少年交流の家

参加：34チーム(41スクール)、選手421名、指導者98名、保護者・関係者約600名

2. 三地域ブロック大会

(1) 関東協会：

①北海道ラグビースクール小学生大会

日程：9月20日～21日／会場：野幌総合運動公園／参加：選手185名、指導員約60名

②西関東甲信ブロック ミニラグビー交流大会

日程：10月26日／会場：上柚木陸上競技場／参加：選手約300名、指導者約45名

③東京都秋季ミニラグビー交流大会／東関東ブロック交流大会

日程：11月3日／会場：江戸川区／参加：選手約600名、指導者約100名

(2) 関西協会

①四国ブロック交流大会

日程：8月3日／会場：おこぜハウス／参加：台風の影響により中止

②中国ブロック交流大会

日程：3月8日／会場：徳山大学／参加：10チーム選手204名、スタッフ50名、大学生20名

(3) 九州協会

①第15回西九州ブロック ミニラグビー交流大会

日程：9月28日／会場：福岡県・さわやかスポーツ広場／参加：20スクール選手約880名

②第15回東九州ブロック ミニラグビー交流大会

日程：11月3日／会場：熊本県・八代市／参加：20スクール選手約560名

③第7回沖縄県ミニラグビー交流大会

日程：9月7日／会場：読谷村／参加：10スクール選手約86名

④第14回南九州ブロックミニラグビー交流大会

日程：12月14日／会場：鹿屋市／参加：13スクール選手約410名

3. 各種研修会、ミニラグビープロモーション講習会

(1) 関東協会：

①東北地区指導者研修会

日程：11月15日～16日／会場：東根市／参加：指導員74名、小学校教員26名、指導者・講師10名

②関東地区指導者研修会

日程：2月21日～22日／会場：千葉商科大学／参加：指導員120名、指導者・講師40名

(2) 関西協会：

①『ラグビースクール指導者セミナー(関西協会)』

日程：2月7日～8日／会場：天理／参加：36名

②『四国ブロック指導者研修会』

日程：8月3日／会場：おこぜハウス／参加：20名

(3) 九州協会：

①日程：7月12日(土)～13日(日)／会場：サンピア福岡／参加：25名

4. ミニ・ラグビーフレンドリーマッチ

日程：1月31日～2月1日／会場：秩父宮ラグビー場

参加チーム：宮城ノース、相模原ラグビースクール、芦屋ラグビースクール、鹿児島オールブラックス

【中学生関連】

1. 太陽生命カップ 2014 第5回全国中学生ラグビーフットボール大会
日時：9月13日～15日
場所：ケーズデンキスタジアム水戸、水戸市ツインフィールド
【中学の部】伏見中学校【RSの部】横浜ラグビースクール【女子エキシビジョン】U15 東京都・合同チーム選抜
2. 第20回全国ジュニアラグビーフットボール大会
期間：12月29日～31日
場所：近鉄花園、J-Green 堺
【第1ブロック】 福岡県選抜 【第2ブロック】 大阪府中学校選抜
3. 普及拠点の拡大と選手育成の推進
 - ①放課後ラグビープログラム（文部科学省委託事業）
「2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業」の一環、5会場で実施。
 - ②都道府県U15 ジュニアトレセンの設置
部門にてガイドラインを協議・合意、三地域協会経由にて都道府県協会に2015年5月開示予定

【タグラグビー関連】

1. 指導者養成事業
 - ①タグラグビーエデュケーターの養成
北陸、四国、中国、九州でエデュケーター養成講習を実施し、31都道府県で80名のエデュケーターを認定し、47都道府県に計97名のエデュケーター候補を配置。
 - ②タグラグビーティーチャーの養成
22都府県で計29回のティーチャー養成研修会が開催され、タグラグビーティーチャーとして600名が認定された。
2. サントリーカップ 第11回全国小学生タグラグビー選手権大会
期 間：予選大会＝平成26年9月～平成27年2月 決勝大会＝平成27年3月7日・8日
会 場：予選大会＝全国47都道府県各会場 決勝大会＝秩父宮ラグビー場
参加数：全47都道府県で開催されてきた都道府県予選・ブロック大会には、1,086チーム・延べ9085名が参加
<各部優勝チーム>
カップ：八王子市立七国小学校「七国スピリッツ」
プレート：府中市立小柳小学校「小柳ライトニングス」
ボウル：関市立桜ヶ丘小学校「桜6 S」
シールド：富良野市立富良野小学校「富良野へそタグズ」
石塚賞：帯広市立花園小学校「花園エンジェルス」※フェアプレーや勇気・元気のあるチームに贈られる。
3. その他 主催事業・イベント・地域協会助成事業
 - ①ジャパンラグビー トップリーグ2014-2015「A I G タグラグビーツアー」
日程：8月23日～平成26年12月7日
会場：7都府県／8開催
参加：約550人
 - ②タグラグビー指導者研修大会（文部科学省2019 ラグビーワールドカップ普及啓発事業）
日程：11月11日～平成27年1月23日
会場：岩手県、長野県、大阪府、山梨県、兵庫県
参加：119人

【文部科学省委託事業「2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業」】

1. 「タグラグビー」を活用したラグビーの普及・拡大
 - ① RWC2019年告知と、タグラグビー導入ガイドブックの全国配布。
 - ② タグラグビー普及実態把握のための導入実績調査
 - ③ タグラグビー指導者研修大会の実施
盛岡・松本・大阪・甲府・姫路 述べ参加者 115名

2. 女子指導者、レフリーの養成事業

①女子指導者養成プロジェクトの計画実施

【開催会場】 3月28日(土) (大阪府茨木市) /12名

【北関東会場】 3月28日(土) 茨城県龍ヶ崎市 /10名

【関東会場】 3月29日(日) (神奈川県横浜市) /20名

②「女子レフリーアカデミー」の創設

10代・20代の将来有望なレフリーを中・長期的計画をもとに特別研修を実施し、アジラグビー連盟(ARFU)、ワールドラグビーパネルレフリーの輩出を目指す。

10. 審判委員会

レフェリー部門

1. トップレフェリー(A・A1・A2・女子)研修活動

①パネルレフェリー研修会

4月19日～12月29日 10回 レフリー 178名、スタッフ 162名

②春季JTL、JTL下部リーグオープン戦・チーム練習への派遣 関東・関西・九州 106回派遣

③日本代表関連合宿への参加 50回派遣

④トップレフェリー夏季合宿派遣 38回試合・トレーニング派遣 7月21日～8月11日網走市・北見市・美幌市

⑤夏季JTL、JTL下部リーグプレシーズンマッチ・チーム練習への派遣 関東・関西・九州 33回

⑥JTL派遣(8～2月) 各地域 126試合派遣

⑦秋・冬季JTLトレーニングマッチへの派遣 関東・関西・九州 72回試合・トレーニング派遣

⑧全国高校大会若手レフリー研修会 12月26日～1月3日 大阪 花園

⑨アカデミーレフェリー研修会(男子・女子)東京・大阪 計12回開催

2. 海外交流(派遣・受け入れ)

①派遣関係

・アジア5ネーションズカップ

・IRB JWRT U-20 大会

・IRB Talent Optimization(南アフリカ))

・IRB Youth Olympics Game(Nanjing)

・WR MO Level3 講習(Fiji)

・NZ 協会女子交流

・Scotland 協会交流・UAE 協会交流

・Amsterdam, Roma, Fuji Seven7's

・アジアセブンズシリーズ

・IRB JUNIOR WORLD CHAMPIONSHIP(NZ)

・IRB World 7's

・WR Test Match Hongkong vs Russia

・NZ アカデミー(Hamilton)

・NZ・ITM カップ

・USA 協会交流・Guam 協会交流

②受入関係

・IRBレフェリーアドバイザー

・IRBレフェリーマネージャー

・ITALIA、Maori All Blacks 戦

・アジア5ネーションズカップ

・香港協会レフェリー交流

・韓国協会レフェリー受け入れ

・IRB World 7's (4月東京)

・NZ 協会レフェリーマネージャー

・サニックスユース大会

・パシフィックネーションズカップ

・UAE 協会レフェリー交流

3. レフェリーコーチ・評価研修活動

①ワールドユース大会研修会 4月28日～5月5日 福岡 宗像市 レフェリーコーチ 7名

②海外招聘レフェリーコーチによる巡回指導(8・12月)

③パネル・三地域・女子レフェリー研修

④全国高校大会研修会 12月27日～1月3日 大阪 花園 レフェリーコーチ 38名

ルール部門

①IRB ELV 施行に向けての見解集約、IRBからの情報収集を行った。

②ルールとレフリングのギャップ解消に努めた。

③ルールの分かりやすい説明・啓蒙活動を行った。

11. 高校委員会

1.. 大会関連

- ①第15回全国高校選抜ラグビー大会
年3月30日(日)～4月7日(月) 場所:熊谷ラグビー場
東福岡(62-10) 桐蔭学園
- ②サニックスワールドラグビース交流大会 2014
4月28日(月)～5月5日(月) 場所:グローバルアリーナ
優勝 ハミルトンボーイズハイスクール(NZ)
- ③第1回全国高校7人制ラグビーフットボール大会
7月18日(金)～21日(月) 場所:菅平高原サニアパーク
カップ 東福岡(26-12) 御所実業
- ④第10回全国高等学校合同チームラグビー大会
7月31日(木)～8月3日(日) 場所:菅平高原サニアパーク
U17 カップ優勝 九州 U18 カップ優勝 関東
- ⑤第68回国民体育大会
10月17日(金)～21日(火) 場所:長崎市:かきどまり陸上競技場
大阪(16-15)福岡
- ⑥第94回全国高校ラグビー大会
12月27日(土)～1月7日(水) 場所:近鉄花園ラグビー場
東福岡(54-5)御所実業
- ⑦第45回全国高専大会
1月4日(日)～9日(金) 場所:ユニバー記念競技場
仙台高専・名取(50-0)奈良工業高専
- ⑧第7回U18合同チーム東西対抗
1月7日(水) 場所:近鉄花園ラグビー場
東軍(34-5)西軍

2. 強化指導

- ①U17 ブロックライアウト 全国9ブロックで開催
- ②TIDユースキャンプ岩手【高校代表候補合宿】6月26日(木)～30日(月)
- ③TIDユースキャンプ【U17 日本代表候補合宿】8月3日(日)～8月6日(水)
- ④TIDユースキャンプ東芝【高校代表候補合宿】9月11日(木)～14日(日)
- ⑤TIDユースキャンプ同志社12月23日(火)～25日(木)

3. 普及指導

- スキルアップキャンプ
8月3日(日)～8月6日(水) 場所:菅平高原サニアパーク
27校 322名の参加

4. 指導者研修

- 第39回高等学校指導者研修会
1月9日(金)～11日(日) 場所:東京 日本青年館
全国9ブロックから2名、花園大会初出場校2名の参加、研究発表と講演、大学選手権決勝の観戦

5. 高校海外交流

- ①高校日本代表スコットランド・フランス遠征
第1戦 3月15日(日) (12-66) U19 スコットランド代表
第2戦 3月18日(水) (12-50) U19 スコットランド代表
第3戦 3月20日(金) (43-19) スタッド・フランセ
第4戦 3月25日(水) (12-89) U19 フランス代表

- ②第22回日韓中ジュニア交流競技大会
8月23日(土)～28日(木) 岩手県
24日(日) 日本(34-12) 韓国
26日(火) 日本(78-7) 岩手
27日(水) 日本(91-5) 中国

6. 女子ラグビー

- ①第3回全国高等学校選抜女子セブンズラグビー大会
4月4日(金)～5日(土) 場所:熊谷ラグビー場
カップ優勝 石見智翠館
- ②サニックスワールドラグビークラス交流大会 2014 女子セブンズ
4月28日(月)29日(火) 場所:グローバルアリーナ
優勝 関東選抜(35-21) サンシャインコーストスティングレイズ(オーストラリア)
- ②第4回全国高等学校女子7人制ラグビー大会
7月31日(木)～8月3日(日) 場所:菅平高原サニアパーク
カップ優勝 九州
- ③U18花園女子セブンズ
平成26年12月27日(土)

7. その他

高校部員登録人数を3万人台に回復するように普及活動を推進する。
2019年ワールドカップに向けたユース強化。
セブンズ強化。
高校女子ラグビーの普及と強化。

12. 安全対策推進委員会

- 1.「安全推進講習会」の開催。
 - ① 安全推進講習会講師としてのトレーナーの育成を行った。
 - ② 安全推進講習会医務関連講師の育成を行った。
2. チーム登録資格要件の追加など、速やかに具体的施策を実施した。
3. 外傷・傷害の撲滅普及・啓発活動
 - ①メディカル委員会と協力してWR資格レベル1、レベル2資格取得Dr.の養成を行った。
 - ②各委員会・部門と連携し重症事故の撲滅に努力した。
 - ③HPを利用して、タイムリーな事例を掲載して、啓発した。
- 4.研修会開催
 - ① スキルアップ研修会の実施
8月3日～8月6日に菅平において高校生及びその指導者を対象とした講習会に講師を派遣した。
 - ②有資格ヘルスケア専門家の養成を目的に講習会を開催した。
- 5.セーフティ・アシスタント管理
 - ①各都道府県でのセーフティ・アシスタントの養成状況を把握した。
 - ②ルールブックの内容読み替えに伴うセーフティ・アシスタント管理に関する手帳の内容を変更し新たに発行した。
認定証の内容も、顔写真を貼り付けるように変更した。
 - ③認定者管理については、支部協会とともに日本協会でも情報共有することにした。

13. メディカル委員会

メディカル部門

1. 三地域連絡会議／メディカル総会
【三地域】11月9日(土) / 場所:ジャパングラブ
【総会】年3月21日(土) / 場所:ジャパングラブ
2. ラグビードクターフォーラムの開催
日時:2月22日(日) / 場所:イノホール
3. RWC2019全国医療従事者会議(2019.11.3)に出席

トレーナー部門

セミナー/研修会開催	・セミナー（九州）	7/7	受講者	18名
	・セミナー（関東）	2/22	受講者	71名
	・セミナー（関西）	3/8	受講者	25名
	・研修会（九州）	7/6	参加者	18名
	・研修会（関西）	3/7	参加者	24名

14. 女子委員会

① 第3回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会 女子セブンズの部

期日 4月5日（土）会場：熊谷ラグビー場

概要 高校、クラブ12チーム参加

カップ 石見治智翠館（14-7）福岡レディース

プレート 神戸甲北（40-7）北信越・千葉選抜

ボウル 大分ウィメンズ(41-7) 愛媛ラグール

② KOBELCO CUP 2014 第4回全国高等学校女子7人制ラグビーフットボール大会

期日 8月1日（金）～4日（月）会場：サニアパーク

カップ 九州（12-5）関東

プレート 近畿（38-0）北信越

ボウル 北海道・関東（32-5）四国

③ 太陽生命カップ2014 第5回全国中学生ラグビーフットボール大会

期日 9月13日（土）～15日（月）会場：ケーズデンキスタジアム水戸等

U15 東京都・合同チーム女子選抜（24-0）U15 九州女子選抜 A

④ 第1回全国女子ラグビーフットボール選手権大会

期日 11月23日（日）会場：江戸川区陸上競技場

会長杯 日体大大学（46-5）名古屋レディース

⑤ 第63回高等学校ラグビーフットボール大会エキジビジョン

期日 12月27日（金）会場：花園ラグビー場

概要 全国を東西に分け、各地域で選抜された選手による7人制の試合

⑥ 第16回ジャパンセブンズ大会

期日 2015年3月15日（日）会場：瑞穂ラグビー場

日体大ラグビー部女子 A（24-19）RKU ラグビー部龍ヶ崎

⑦ 15人制三地域対抗戦

期日 12月7日（日）長野県・長野運動公園総合運動場陸上競技場

関東代表（27-5）関西・九州代表

12月14日（日）岡山県・kanko スタジアム

関西・九州代表（15-10）関東代表

12月21日（日）宮崎県・KIRISHIMA ハイビスカス陸上競技場

関西・九州代表（10-46）関東代表

15. アンチ・ドーピング委員会

1. ドーピング検査

- ①競技会検査 171 検体(トップリーグ 94 検体・大学チームの定期戦(関東大学対抗戦・リーグ戦、関西大学 A リーグ、九州学生リーグ I 部) 32 検体・大学選手権 25 検体・日本選手権 12 検体、WR(World Rugby)主催試合 8 検体)を実施した。

- ②検査対象となる大学の全チームに対して、アンチ・ドーピング教育啓発の研修会を行った。また、これらの大学チームについては、チーム居場所情報の提出を義務化して、競技会外検査の対象とし、一層のアンチ・ドーピング啓発を図った
- ③JADA の居場所情報提出義務違反を 1 回カウントされた選手に対して、助言および指導を行った。
- ④治療使用特例（TUE）申請手続きに関する助言を行った。

2. 普及活動、セミナー開催、情報提供活動

- ①チームに対するアンチ・ドーピング研修会を 35 回実施した。
- ②日本代表（15 人制、7 人制）各チーム、トップリーグ各チーム、その他のチームに JADA 作成のアンチ・ドーピング関係教材を配布した。
- ③3 地域協会を通じて、JADA 作成のアンチ・ドーピング教材を提供し、各協会の大学チーム等へ配布した。
- ④全国高等学校大会、全国高校選抜大会、全国中学生大会、においてドーピング啓蒙教育を実施した。

16. 監査委員会

監査実施内容

- 1. 全般的な内部統制
 - ① 監査日 6 月 29 日（日）
 - ② 被監査部署 事務局
 - ③ 内容 全体的な内部統制フレームワークの確認
- 2. 代表事業部
 - ①監査日 7 月 27 日（日）、8 月 6 日（水）、8 月 14 日（木）
 - ②被監査部署 代表事業部
 - ③内容 助成金についての申請額と実施額の乖離
- 3. 監査結果については、9 月 25 日（木）開催の理事会に報告

17. 戦略室

JRFU 戦略計画に関して以下の業務を行った。

- 1. 戦略計画等のモニタリングとフィードバック
- 2. 戦略計画に係る各種調査分析業務
- 3. 競技者登録システムを中心としたデータベースシステムの管理と活用
- 4. 総合的な見地に立った、全体的方針、組織体制の検討と理事会への提案
- 5. 2019 年以降を見据えた戦略的施策の検討と提案

関東ラグビーフットボール協会

1. メディカル委員会

- (1) 都道府県医務委員長会議
 - 平成26 年9月6日 於秩父宮ラグビー場会議室
 - 平成27年1月18日 於秩父宮ラグビー場会議室
- (2) メディカル委員会総会 9月7日 於アイビーホール

2. レフリー委員会

- 1. 研修会・講習会関係
 - (1) レフリー& レフリーコーチ研修会 5月10日
 - (2) レフリーコーチ研修会 4月19日、7月13日
 - (3) B 級レフリー認定講習会 8月8 日～10日 菅平
 - (4) 関東トップレフリー研修会 8月22日～24 日菅平

3. 安全対策委員会

- 1. 菅平高原及び夏の合宿地での安全対策啓発活動
 - ①熱中症の予防
 - ②個人登録の義務認識
 - ③安全対策啓発ポスターの配布
 - ④高校生対象のスキルアップ講習会での安全対策講習会の実施

4. コーチ委員会

- 1. コーチ派遣事業
 - ① こぐまリーグ中学生合同練習会（北海道）
 - ② 第7 回東北地区高専ラグビーフットボール講習会

5. 普及育成委員会

《中学校部門・中学生RS 部門》

1. 大会の主催

- ①第65 回関東中学校ラグビー大会
- ②第8 回東日本U15 中学生ラグビークラブ大会
- ③第16 回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー
- ④第20 回全国ジュニアラグビー大会関東地区中学校予選
- ⑤第35 回東北中学生ラグビー交流大会
- ⑥第5回全国中学生ラグビー大会・中学校の部東北北海道地区予選
- ⑦第21回関東甲信越ジュニアラグビー交流大会
- ⑧第34 回東日本中学生ラグビー大会
- ⑨第20回全国ジュニアラグビー大会 北海道・東北地区中学校予選
- ⑩第12回東日本U15中学生ラグビー選抜大会

《タグラグビー部門》

第11回全国小学生タグラグビー選手権

関東地区の6 ブロックとも前年実績を上回った。予選参加に469 チーム(前年度423) 3,909人(前年度3,537)

6. セレクションコミッティ・強化委員会

1. 関東代表NZ遠征

期間：4月19日～5月4日

第1戦 4月23日 於：アッシュバートン

関東代表(7-13)ミッドカントベリー

第2戦 4月30日於：クライストチャーチ

関東代表(19-28)南島大学連合

第3戦 5月3日於：クライストチャーチ

関東代表 (7-50) NZU (NZ学生代表)

7. 社会人委員会

1. 各種大会への実施、参加

- ①第55 回YCAC セブンズ 4月6日(日) : YC&AC
- ②第51回東日本都道府県対抗大会開催、7月19日(土)・21日(月祝)、岩手県八幡平市
- ③第69 回国民体育大会/出場チーム 北海道・岩手県・秋田県・山梨県・千葉県・東京都
- ④トップリーグ・トップイーストリーグDiv1 Div2・関東社会人リーグ・トップチャレンジリーグへの参加

8. クラブ委員会

- ①第24 回東日本クラブ選手権大会
- ②第11回東日本トップクラブリーグ
- ③第33 回ラグビーフェスタ2014 イン・スガダイラ
- ④第31回東北クラブ選手権大会
- ⑤第21回ラグビーフェスタ2014・イン・ハチマンタイ
7. 東日本クラブセブンズ2014
- ⑥第22 回関東学生クラブ選手権大会
- ⑦学生クラブ東西交流ラグビーフェスティバル・イン・スガダイラ2014 の主管
- ⑧2014 東日本マスターズ大会

9. 女子委員会

- ①海老名市ガールズ・ラグビーフェスティバル2014

- ②第2 回東京都女子15人制大会
- ③関東U18 選抜 VS 香港U18 代表試合
- ④第62 回関東高等学校ラグビー大会 女子7人制エキシビジョンマッチ
- ⑤第64 回関東中学校ラグビー大会 女子7人制エキシビジョンマッチ
- ⑥千葉県ガールズ・ラグビーフェスティバル2014
- ⑦第2 回東京都女子ラグビーフェスティバル
- ⑦第25 回関東女子ラグビー大会
- ⑧横浜市女子セブンズ大会
- ⑨第1回全国女子ラグビー選手権大会
- ⑩第8 回ガールズラグビーフェスティバル
- ⑪東京都・愛知県中学生女子交流戦
- ⑫女子三地域代表対抗戦
- ⑬横浜市女子セブンズ大会(横浜市協会主催)
- ⑭第6 回関東地区SEVEN' S IN KUMAGAYA

10. 大学委員会

1. 各種大会実施

- ①第65 回全国地区対抗 関東1区、2 区予選実施
- ②関東医歯薬リーグ実施 優勝：昭和大学
- ③第15 回東日本大学セブンズ
リーグ戦、対抗戦など公式戦の実施
- ④第36 回関東大学ジュニア選手権
- ⑤第3 回関東大学春季大会実施
- ⑥第2 回関東大学オールスターゲーム

11. 高校委員会

1. 各種大会、予選会実施、全国大会参加

- ① 全東日本高校代表 対 全九州高校代表
- ② 地区大会
 - ・第41回北海道高校大会
 - ・第65 回東北高校大会
 - ・第62 回関東高校大会
 - ・第36 回北信越高校大会
- ③U16 ブロクトレセン・U17 ブロックトライアウト
 - ・北海道ブロック
 - ・東北ブロック
 - ・関東ブロック
 - ・北信越ブロック
- ④ブロック国体・第69 回国民体育大会予選会
北海道大会、東北大会、関東大会、北信越大会
- ⑤第16 回全国高校選抜大会地区予選
北海道新人大会、東北新人大会、関東新人大会、北信越大会
- ⑥ 合同チーム大会
北海道大会、東北大会、関東大会、北信越大会

12. ツアー委員会

1. 海外遠征申請手続き
2. 外国チーム来日許可申請手続き
3. 国際大会への対応
 - ・2014 年春 関東代表ニュージーランド遠征

13. 広報委員会

1. 関東協会「協会年鑑2014 ～2015 年版」作成と配布。
2. 関東協会「役員名簿2014 ～2015 年版」作成と配布。
3. 平成26 年度試合日程メンバー表の作成と一般頒布。
4. 関東協会ポスターの作成と配布、及び一般頒布。
5. 関東協会ポスターを、JR 東日本首都圏管内各駅への 駅貼りの実施。
6. ラグビー普及・振興のための広報・広聴活動。
7. 関東協会「ホームページ」「facebook」の運用。
8. 支部協会「ホームページ」運営の支援。
9. インターネット上での記録入力。
10. 試合当日の「メンバー表」の一般への無料配布。
11. 報道各社への「プレスリリース」の配信。試合後の 記者会見実施。
12. 関東協会主催・主管試合の記録管理。

14. 観客動員委員会

1. 各種プロモーションを以下の様に実施
 - ①関東大学ラグビー共通ポスター制作 (対抗戦16 校、リーグ戦全校に配布)
 - ②プロモーションビデオ (リーグ戦・対抗戦の統 合PV を制作、競技場で放映)
 - ③校歌斉唱CD もしくは関連団体の生斉唱を選手整 列のうえ実施
 - ④ハーフタイムイベント チアリーダー、コー ラス、両校応援イベントを実施
 - ⑤Web メディアの活用 フェースブックの運営、 管理
 - ⑥三賞表彰 ファーストトライ賞、グッドタックル 賞、ベストFW賞を選定、表彰。
 - ⑦大学女子マネージャーによる場内アナウンス (ルール解説) の継続
2. 後援企業契約 ・タイセイ・ハウジー、そんぼ24

15. 登録者傷害見舞金審査委員会

1. 各都道府県協会より報告された傷害報告、見舞金請 求 (診断書) に対し毎月審査委員会を実施。
2. 登録者傷害見舞金制度、関東協会管下分について 収支明細及び見舞金支給者名簿を作成し日本協会へ 報告。
 - ・平成26 年度 審査明細
 - 計330件、9,980,000 円
 - *重傷報告 6 件 : 4月 (1件)、5月 (2 件)、9月

関西ラグビーフットボール協会

1. 医務委員会

- ・委員会開催 6 回
- ・日本選手権、大学選手権、全国高校大会他各地域 での公式戦での活動実施

2. 総務委員会

- ・委員会開催 13 回

16. 選手資格審査委員会

日本協会規程、トップリーグ規約、その他の関連する 規約に従って、選手のチーム間の移籍、外国人選手の 登録等について審査を行った。

- ①外国人選手の新規登録
- ②トップリーグ選手の移籍手続
- ③トップリーグ以下の社会人選手の移籍手続

17. 規律委員会

1. 競技規則、トップリーグ表彰懲罰規程に準拠した不 行跡、不規律の処置

- ①11月3日 (月) 場所 : ニッパツ三ツ沢球技場
- ②11月15日 (土) 場所 : ニッパツ三ツ沢球技場

2. シンビンの計数ならびに公開

- ① 期日および試合 : 該当なし

18. 競技委員会

1. 関東協会主催試合・主管試合の競技運営
 - ・主催・主管試合への担当理事・競技委員の決定と 派遣、ボール係の派遣依頼と管理
2. 競技運営向上施策
 - ・担当職務 (伝令担当、Dr. 担当、ボールボーイ担 当、担架搬送担当、危機管理担当) のローテーシ ョンを実行し、Generalist とSpecialist を育成 した。
 - ・危機管理体制強化…担当チーム制の整備と警備会 社との職務分担連携を確認。
 - ・観客・選手の怪我・病気対応は、安全性・迅速性 を考慮し担当職務の明確化を図った。
3. 競技委員新規登録者発掘と教育
 - 競技委員の若返りを目論み、30 才台40 才台の競 技委員の発掘に努める。

19. 総務法務委員会

1. 関東協会規約その他諸規程の整備
2. 租税公課に対する対応
3. 労務管理の整備
4. 法令遵守 (コンプライアンス) の推進
5. 各委員会間の調整作業
6. その他

3. レフリー委員会

- ・委員会開催 5 回
- ・トップコーチ・レフリーコーチ会議 1 回
- ・研修会開催 3 回
- ・B級認定講習会 3 回 (近畿・中国・四国)
- ・レフリー派遣 (各リーグ戦、一宮セブンズ大会、関西クラブ大会 等)

4. 強化・セレクション委員会

- ・強化・セレコン委員会 3 回
- ・関西学生選抜選定
- ・関西代表選定
- ・強化・セレコン委員派遣(TL・リーグ戦各試合)

5. コーチ委員会

- ・トップチームコーチ会議
(7/6 ホテルクライトン新大阪)
- ・第 1 回総務部会(5/19 関西協会)
- ・強化コーチ養成講習会派遣
(7/23～ 国立オリンピックセンター)
- ・第 2 回総務部会(1/17 関西協会)
- ・関西協会コーチ委員長会議
(2/1 ホテルアウイーナ大阪)
- ・育成コーチブラッシュアップ講習会
(2/28 ホテルクライトン新大阪)

6. 普及育成委員会

(1) ジュニア部門

- ・部門会議(5 回)
- ・太陽生命カップ 2015 第 5 回全国中学生大会
関西地区スクール予選(6/21～22)
- ・第 2 回関西女子中学生大会(6/21・22)
- ・第 35 回関西中学生大会 (7/26～7/28)
- ・第 16 回関西中学生ジャンボリー (7/26～7/28)
- ・中四国ジュニアラグビー指導者講習会 (9/6～7)
- ・第 16 回近畿スクールジュニア交流大会 (11/23)
- ・第 20 回全国ジュニア近畿ブロック予選 (11/24)

(2) ミニラグビー部門

- ・部門会議(9 回)
- ・関西ラグビーまつりミニの部(4/27)
- ・関西ミニジャンボリー大会(淡路島・6/28～29)
- ・ラグビーマガジンカップ(10/18)
- ・お母さんのためのラグビークリニック(10/18)
- ・プロモーション講習会(2/7・8)

(3) タグラグビー部門

- ・部門会議 8 回
- ・「関西タグラグビーフェスティバル」
琵琶湖 CUP in 長浜ドーム(5/24)
- ・タグラグビーエデュケーター講習会
(中国・四国・北陸)
- ・第 2 回クリスマス CUP 関西小学生ラグラグビー
チャンピオンシップ(12/21)
- ・サントリーカップ各府県・各ブロック予選

7. 安全対策委員会

- ・安全推進講習会 (2/1 ホテルアウイーナ大阪)

8. 社会人委員会

- ・トップウエストリーグ
Aグループ 9/13～11/30 (優勝:HondaHEAT)
A1グループ 9/20～11/16 (優勝:ユニチカ)
Bグループ 9/20～11/22 (優勝:K-POWERS)
B1グループ 9/16～11/24 (優勝:大阪市教職員)

- ・チャレンジマッチ@JR西日本G
門真ブルーソックス(B1-6位) 12-39 川崎重工(兵庫県)
KOMATSU(B1-5位)5-51 守口市門真市消防(大阪府)
- ・トップリーグチャレンジシリーズ
トップチャレンジ2(12月・大阪、広島、東京)
1位通過:釜石シーウェイブスR.F.C
- ・トップチャレンジ1(1月・東京、大阪、福岡)
1位:HondaHEAT(トップリーグ自動昇格)
- ・トップリーグ入替戦
豊田自動織機 53-7 三菱重工 (2/14 瑞穂)

9. クラブ委員会

- ・第 6 回近畿リーグ
- ・第 26 回関西クラブ大会

10. 大学委員会

- ・リーグ委員会開催 2 回
- ・総会 (7/20 近畿大学)
- ・Aリーグ 10/5～12/6 (優勝:関西学院大学)
- ・Bリーグ 9/21～11/30 (優勝:関西大学)
- ・Cリーグ 9/21～11/30 (優勝:神戸大学)
- ・D1リーグ 9/28～11/16 (優勝:滋賀大学)
- ・D2リーグ 9/28～11/16 (優勝:奈良県立医科大学)
- ・D3リーグ 9/21～11/16 (優勝:関西外国語大学)
- ・D4リーグ 9/21～11/9 (優勝:兵庫県立大学)
- ・ベスト XV 表彰式 (2/22)

11. 高専委員会

- 第 45 回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会
(1/4～1/9 神戸)
- ・実行委員会 4 回(11/12・29、12/4・17)
- ・抽選会 (11/29)
- ・代表者会議 (1/3)
- ・反省会(2/1)

12. 高校委員会

- ・高校委員会(4/13、9/28、12/26)
- ・第 12 回関西高校少人数校ラグビー交流大会
(6/21～22 大阪体育大学)

13. 女子委員会

- ・関西ラグビーまつり(4/26 花園ラグビー場)
- ・第 2 回フィオーレリーグ(9～11 月 京都)
- ・第 17 回関西大会(9/1～10/27 瑞穂、他)
- ・全国大学女子 7 人制大会 (11 月)
- ・三地域対抗戦(12 月 長野、岡山、宮崎)
- ・交流会(6 月・11 月 灘浜 G・三重朝明高)
- ・関西女子高校 15 人制練習会
- ・ジャパンウイメンズセブンズ(3/16 瑞穂)

14. 広報委員会

- ・TL・リーグ戦各試合への派遣とマッチレポートの作成
- ・関西協会記者懇談会への派遣

15. 傷害見舞審査委員会

・審査委員会の開催 11回(8月を除く)

九州ラグビーフットボール協会

1. レフリー委員会

- (1) 各県委員長会議:
 - ① 6月21日:佐賀 ② 12月13日:福岡
 - ③ 27年2月21日:宮崎 ④ 副委員長会議 2回:福岡
- (2) レフリー研修会
 - ① 九州地区トップレフリー研修会
7月29～8月31日:大分
 - ② 九州地区レフリー研修会 8月1～3日:大分
 - ③ 九州地区B級レフリー認定講習会
実技:11月6日:福岡・16日:鹿児島
筆記:27年2月14日:福岡・15日:鹿児島
 - ④ 三地域トップレフリー研修会 8月15～17日:菅平
- (3) 各県巡回指導研修会 27年1月～3月:各県
- (4) 有望レフリー発掘事業 27年1月～3月:沖縄県
- (5) 若手レフリー研修会講師派遣
5月:長崎県 7月:熊本県 12月・27年1月:福岡県
- (6) レフリー派遣:各地
- (7) レフリーコーチ及び評価:各地
- (8) コーチ・アセッサー研修会 12月:福岡
- (9) レフリー評価委員会 27年3月8日:福岡
- (10) 九州アカデミー研修 各地

2. 社会人委員会

- (1) 第52回九州セブンズ(木元杯)大会
4月12～13日:福岡
- (2) 第34回九州地区国民体育大会(成年の部)
8月22日～24日:熊本
- (3) トップキュウシュウリーグ戦
A・Bリーグ 9月～11月:各地
決勝リーグ 11・12月:福岡
入替戦 12月14日:福岡
- (4) トップリーグチャレンジシリーズ
12月～27年1月:各地
- (5) トップキュウシュウリーグ代表者会議
27年2月11日:福岡
- (6) トップキュウシュウリーグA・B入替戦
27年2月14日:福岡

3. クラブ委員会

- (1) 各県委員長会議
1回目 6月7日:佐賀 2回目 11月15日:福岡
- (2) 第33回九州感大会 6月7～8日:佐賀
- (3) 第10回九州トップクラブリーグ 9月～12月:各地
- (4) 第40回全九州クラブ・実業団大会
11月15日～16日:福岡

決勝戦 11月30日:熊本

- (5) 九州トップクラブリーグ入替戦 12月14日:各地
- (6) 第22回全国クラブ大会 27年1月11日:各地

4. 大学委員会

- (1) 大学委員長会議 1回目 7月12日:福岡
2回目 12月6日:福岡
- (2) 九州山口医科系大学安全講習会 3月18日:福岡
- (3) 第53回九州山口医科大学生大会
4月26日～5月6日:山口
- (4) 九州学生春季リーグI部
5月31日～6月29日:福岡他
- (5) 第53回九州商経大学大会 6月14・15日:大分
- (6) 第64回九州地区大学体育大会
6月28日～7月1日:熊本
- (7) 第22回九州学生リーグ戦 9月・11月:福岡他
I部A・Bリーグ入替戦 10月4日:福岡
- (8) 平成26年度九州学生ジュニアリーグ戦
9月20日～10月26日:福岡他
- (9) 第14回九州地区対抗大学大会
(九州学生III部リーグ優勝決定戦)
11月15・16・23日 宮崎
- (10) 九州学生リーグI・II・III部入替戦 12月14日:各地
- (11) 第65回全国地区対抗大学大会(1回戦)
27年1月2日～6日:愛知
- (12) 第51回全国大学選手権 11月16日～30日:各地

5. 高専委員会

- (1) 第23回九州高専チームリーダー講習会
3月30日～4月1日:八代
- (2) 第23回九州高専新人大会(15人制・7人制・女子タグ)
5月10日～11日:久留米
- (3) 九州地区高専委員長会議 11月14日:佐世保
- (4) 第51回九州地区高等専門学校大会
11月15日～18日:佐世保
- (5) 第45回全国高等専門学校大会
27年1月4日～9日:神戸

6. 高校委員会

- (1) 交流試合 東日本高校代表 vs 九州高校代表
4月12日:東京
- (2) サニックス2014ワールドユース交流大会
4月28日～5月5日:福岡
- (3) 第67回全九州高等学校大会
(九州高体連主催) 6月21日～24日:佐賀

- (4)九州高体連ラグビー専門部委員長会議
6月21日:佐賀
- (5)九州高校強化委員会 6月21日:佐賀
- (6)夏季九州高校1・2年生一次強化指導会
7月5日～7日:湯布院
- (7)U17全国高校合同チーム大会直前合宿
7月5日～7日:湯布院
- (8)第34回九州地区国民体育大会(少年の部)
8月22日～24日:熊本
- (9)第94回全国高校選手権大会各県予選 10月～:各県
- (10)第6回九州U16・U17交流会
12月13日～14日:福岡
- (11)サニックス2015ワールドユース交流大会 予選会
27年1月2日～5日:福岡
- (12)第37回木元杯全九州高校新人大会
27年2月21日～25日:宮崎
- (13)九州高校委員会及び強化委員会
27年2月21日:宮崎
- (14)三ブロック対抗戦(九州・中国・四国)
27年3月6日～8日:山口
- (15)U17九州選抜候補合宿
27年3月14～16日:湯布院
- (16)第16回九州高校10人制大会
27年3月21・22日:福岡

7. コーチ委員会

- (1)各県委員長会議 1回目 7月13日:福岡
2回目 27年1月:福岡
- (2)日本協会トップコーチ会議 7月13日:福岡
- (3)強化協会強化コーチ養成講習会
7月25～29日:東京
- (4)九州協会トップチームコーチ会議兼強化コーチ
ブラッシュアップ研修会 7月13日:福岡
- (5)育成コーチ養成講習会 10月11～13日:福岡
- (6)ブラッシュアップ講習会
12月:佐賀 27年2月:福岡
27年3月:福岡・大分・沖縄
- (7)新スタートコーチ養成講習会
4月:福岡3回・長崎 6月:福岡・沖縄

8. 中学委員会

- (1)各県委員長会議
 - ①第1回 4月5日:福岡
(中学校・ジュニア大会準備、打合せ)
 - ②第2回 8月2日:鯛生
(中学校・ジュニア大会反省会、ブロック大会準備)
 - ③第3回 10月12日:熊本
(ブロック大会反省会、全国大会強化合宿準備)
- (2)九州Jrインストラクター会議
10月11日～13日:熊本
- (3)ジュニアラグビー指導者講習会:各県
- (4)第36回新島杯九州ジュニアラグビー大会
8月1日～3日:鯛生
- (5)第27回新島旗九州中学校大会 8月3～5日:鯛生

- (6)第15回ジュニアラグビー九州ブロック大会
10月11日～13日:熊本
- (7)第16回九州ジュニアラグビージャンボリー大会
福岡ジャンボリー(27年1月24日～25日)
長崎ジャンボリー(27年2月21日～22日)

9. 普及育成委員会

- (1)会議・研修会
 - ①普及育成担当者研修会委員会
6月7日～8日:福岡
 - ②タグ部門長会議(兼サントリーカップ打合せ)
7月5日～6日:佐賀
 - ③ラグビースクールプロモーション講習会
27年7月12日～13日:福岡
 - ④タグラグビーエドゥケーター講習会
8月2日～3日:大分
 - ⑤九州MRR認定講習会 8月22日～24日:熊本
- (2)ミニ・ラグビー
 - ①第41回九州少年ラグビー交歓会
8月22日～24日:熊本
 - ②第7回沖縄県ミニラグビー交流大会 9月7日:沖縄
 - ③第15回西九州交流大会 9月28日:福岡
 - ④第15回東九州交流大会 11月3日:熊本
 - ⑤第14回南九州交流大会 12月14日:鹿児島
 - ⑥第3回ドリームカップ 11月22日～24日:福岡
- (3)タグラグビー
 - ①タグフェスタ
佐賀 熊本 福岡 沖縄 宮崎 大分 鹿児島 9回
 - ②タグラグビーティーチャー研修会
熊本 大分 沖縄 福岡 宮崎 鹿児島 佐賀 7回
 - ③第9回九州女子タグラグビー大会 12月21日:長崎
 - ④第11回サントリーカップ全国大会予選
宮崎 熊本 福岡 大分 佐賀 鹿児島 長崎 7回
沖縄ブロック予選大会 27年1月10日～11日:沖縄
九州ブロック 予選大会 27年2月8日:佐賀

10. 安全対策委員会

- (1)安全推進講習会 4月～5月:各県
九州協会主催安全推進講習会 5月18日:福岡
- (2)安全推進伝達講習会(九州安全対策委員長会議
27年1月25日:福岡)
- (3)九州メディカル・安全対策委員会合同総会
27年3月:福岡
- (4)セーフティアシスタント認定講習会 各県
- (5)安全講習会実施(スケジュール会議・医科系大学・
高専リーダー講習会):各県

11. 強化・セレコン委員会

- (1)熊本県大学生合同練習指導 6月:熊本
- (2)7人制合同練習指導 8月:長崎
- (3)トップキュウシュウリーグA、九州学生リーグ等視察
9～12月:各県
- (4)強化・セレコン委員会(九州代表セレクト会議)

27年2月:福岡

(5) 三地域強化委員長会議 27年3月:東京

12. 総務委員会

- (1) 九州協会会員名簿作成 8月
- (2) 九州協会会議事録作成 毎月
- (3) 九州協会公式試合記録集作成 27年2月
- (4) 主務の手引書作成 27年2月

13. 広報委員会

- (1) 日本協会機関誌「協会だより」への出稿記事作成
年5回
- (2) 九州協会ホームページの維持・更新
- (3) トップリーグ共同記者会見開催 8月
- (4) 広報委員長開催 8月
- (5) 各メディアへの情報発信・情報交換

14. メディカル委員会

- (1) 公式戦へのマッチドクター派遣:各県
- (2) トップリーグ・メディカルコントロール:各県
- (3) 九州メディカル委員会総務委員会 9月:福岡
- (4) 九州メディカル・安全対策委員会合同総会
(総務委員会含む) 27年3月:福岡
- (5) 日本代表各チーム帯同医師派遣協力
遠征・合宿時対応
- (6) ワールドラグビー医務資格取得講習会開催:福岡

15. 女子委員会

- (1) 女子委員会 1回目 6月・2回目 27年1月
- (2) U15 ユーストライアウト 4月20日:福岡
- (3) 木元杯九州セブンズ女子の部 4月13日:福岡
- (4) サニックスワールドユース女子セブンズ
4月27～29日:福岡
- (5) 長崎国体女子セブンズエキシビジョンマッチ
10月20日:長崎
- (6) 第4回九州ガールズフェスタ 11月16日:長崎
- (7) 全国高校女子選抜大会予選 2月22日:宮崎
- (8) サニックス ガールズセブンズキャンプ 27年3月

16. 登録者傷害見舞金制度

<登録状況>

- ・登録人数 16,283人(-9名)
- ・登録チーム数 468チーム(-6チーム)

グループ別 増加:スクール、大学

減少:高校、一般クラブ

県別 増加:長崎・熊本・宮崎・沖縄

減少:福岡・佐賀・大分・鹿児島

<傷害見舞金>

- ① 傷害見舞金査定会を毎月開催・支給
- ② 発生状況・支給状況などを分析・問題対応
- ③ 傷害報告者へのヒアリング・調整

以上